成员らいよる、事所待軍出的大災を現認しるのであるとんと地区内、いからへを養好日産労働組合、構取和五十七年五月三十七日夜、大阪市上放区内通称 大阪府五成警察看近人 次のとかり報点する。 **警視正** 司法警察面 股和五十七年五月 年七日 司法警察員 大阪府西成警察看 夢部神 日日日

三見認者 二、現認馬所 一、風器日時 り平後九時頃の町 昭和五十七年一五月二十七日、平後七時十分頃日 大阪村西成夢、秦君一司法夢秦司、夢中神 九 同 迎查部克

事中海殿殿里上次外の警戒警備に従行るといるとととなるというの警戒警備に従来を中公園」でを与中地域会同労働組合」が その方向に向うるところり、通称セター通り そるような発育からくえて来たのフ 付近に事一時一神戸量、日日としから打事 が直はとてるのと現就とそ と共に大阪中山成区被文法是了目前在被之 に至る経達 大阪市一世校区校之茶屋于月七春七多人先路上 ヤミナからり 当直勤務とそ

こうじかい

五現部の状况 一成記の分り、車內都宣至平米位手子 中新許可を浸りてる事奏を認識るつる 文差美 付近点 養法な停車之人 取和五十七年一六月一日一午後八時近の前一府下 たとろう 運転者は 番十五年了先路上 ( 被文帝屋小学校南東角 時十二分图、大阪市一场成区校之茶屋了一月十 · 自衛電信の許可を一切成警察到後に の街頭宣伝を行るるので事前に近接し 一円にて、労働組合の宣伝」を目的に華一向に は一金崎日産房御組合、構成員 で既認しるので車的に近付いたところ、午後七 取和五十七年一五月至一六日年三期九時から 

は 追位 住全城然成道言住 の同辺 が数年了から、金属月往沿街 うそは 金月房、 にな 教者等九名の にかけるくりん で見物或は通行 争議团一名 金共斗 統次十周年 物とうろ 文ド

なん

三金月子 の車内衛道が正常に移行そので 大人地区内、野海城下泛事中 の 西政等条名中後七時子的頃本者 とて待枝中 あいり本職らは一旦、西政者に引き場ける。 そ北進しる。 子養頭宣化は学をであるので本職は子後七時十二分頃から初一くる分前、停車 と養法しるところ、発進し、セラー通り 組会」構成員らとその面談を有している人 枕である。 停車宣信は違答方面小八車を発進 とせらり 大 防 府 誓 蔡

三年後七時至一三分頃、大阪市上山成区秋之茶屋の車終と、傍夜~~のです了に現場に向る。 華道本側に車首を南付けに停車し、路上に到着るとう、金田労の宣传車は が助事一帯ではなくりを持ろしる 直院整了了限的同行子了 から海線で 行官を好めそうた 一方場家に停車し、再な達法な停車を下房の経官車」が通報あいりの 警部神 1 一 放記 既認者

3 本職は明らかに違は行宣と認めたりで、アフ等のアニールを南始らる からマイクを浸けとり事外にあり レールを行ろう 勝利したのすの東多数を以下勝利の暴動にはあり公の東海にはあり公の東西では切のけり き結成する、これに対るてあり公の了不中町と云に全国日産活的組合協議会 させてかせる」 当在準にかあるが、四月至五月の山谷 そそ三角分園で山谷、春、老五の しる生きを結成るる記念すべき日た あす。五月子八日は一十年一家、我々の可然 いがつる

巻告に対し、本職が一本職の一人に対する 約三分四分で、一はアニールを終了し本職は一旦養告とくどの数米後退るん 属するような格恰 大力をと 認識して とが呼って車小る。 直了に中止るて事を発進させるこ 小り公帰 停車衙官は法達一人及 和摩するるな 何由多数年茶から 

des 午後七時至一分便 時傍にりるとうそうれなかっるまる と夢にたしたとうう と一人納してあるので本職は 根のアプロールを対め かのかっ 許つりをとうて 幸味な好道と 金の法律しはわしらか作る人 車等這は条件等反反でする 回り回見かずる 本職は J 阴 片 曾 多 金月房の幹部 

一日後退之人動向と連視そろれのアコールを開始して、一日後退之人動向と連門一川地である、不後七時至一大の原は「田田」の一大きで終了すり、一大の頃、本版は一日後退之人動向と連視そうろかで終了。「本版は一日後退之人動向と連視そうろか と一人の一人の一人本人は直近で学成 と夢によってところ この作為進させて車のあの 直でノル車ーを発進させら やかましくちわくてかられく 大 反 符 警 葵

削る 国経り返しる、この夢、たとが実は三年の本のない多りはがかり、明らかに多りはがかり、明らかにが 奏進させる」と夢去すると、この会話を指示しこれを悪理しるので「」に事して 中の「直轄等う隊員」に対し からの後、アニールは一時愛に 多で名を日房構校見了の中 直輕響了路面這一一部補 

こえが文

六年後七時至三分頃から丹三の夢告に构了すり約之 度之とする公配以ンハー等と、ものないのないなりはれている」直接響う成立、が、午後七時のする公理を持続指揮後、英一等らんを変が 群家の後方から、空な人、空岳が投げられるの房衙府は除くに帰れし始め、約三百名になり 等不稳な情勢が窺りりて来る大 ている ときるた趣旨の夢ちちそ行ろしるのを直接的い 金月房の上一君達法は宣伝流動はが携帯ーマイクで、三分四回にるで すぐによめなさいし

中了れた他爆作が十数発校できるれた。年本教教の後方から 空びん、空缶が投等のシスプレ、野灾に呼流して、武勢を 家は到五百名に増加しる日子之子議園」メ等タアとして南城した、この時、周囲の群小からの輝だを許をんで、より公は帰り するように 日本を養している。 一日では、大田田の意根上により、文に日のを根上により、文に日のとは、 車になるマイク宣伝は不可能となったが、可とうく った際マイクのコードがはずれた、このな、行言 ハー等の - III

利き 大阪产面成区较之茶屋于目一番十七号人下多少年後八時至一分成区较之茶屋于目一番十七号人在线外限 直接等子院 警子武员、一个後外降至分项了了一个接入時至一分项了了一个大阪产面成区较之茶屋子院、整子子面成了 空の人。空去か夢備部隊に向て投りら 5る科で南寄り付近で直接養多隊長先路上の登日房の街道車が停車るへ 三く四名が「一丁一」を連行する なとみなるをよれていた おり公場りれ おりの弾圧を許する、職務金死棒

万 四 万 香 多

34

かのう 六善備指置、場ける。本職は連絡の及本名後が降軍分項、本職は連絡の及本 うの間、「山山」が、整理を実施の一人場」は近近輝泉を規判、東理を実施を多後を送び規判を続行、茶記がらり 以減少し約三百名にるり桶之平稳便整備部隊り規制による後轉 何が認められた 思認 るか三時的数米高少ろろう 水り公事

五成警察部 題官人法 h. 会社 司 本 年 法 一九五十九次 警察 月三の日 月 卷上 多 国な